

新春特集

今年はどうぞ 私達の年

中学校を卒業と同時に見ず知らずの和歌山に旅を... 早くも二十年が過ぎようとして... 私達は、時には己に負せうになる事もありましたが、その度に郷里を思い起しては奮起して来たものです...



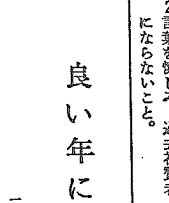
新春雑感



親子猿

こうした中で私は微力ながら一人の人間として、家庭の柱として、地域社会の一員として、心豊かに幸わせを満喫していけるよう成長したいと決意しております...

一九八〇年を迎え新春のおよごびを申し上げます。さるにもいろいろ種類があるようですが、私は何と云うまでも当てるのだからと考えました...



良い年にしたい

坂井トミ

だのは、あゝ私はさる年生まれなのだと、私はもう三十五日位早く生まれ、白毛に包まれている年になるのにと思われたり、又歳は人間に一番近い動物のような氣もします...

明けましておめでとごさいます。主人の仕事の関係で三年間ずっと、前の赴任地佐渡川沿いの北地立島から、二年になるまでしております...

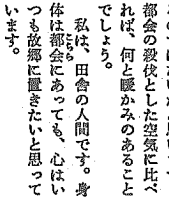


新しい年によせて

泉晶子

年余り家事、育寧とありまされ自分の時間があるようではない毎日でしたが、子供もやっと手がからなくなり第二の青春(?)とかであれば、これもやってみたいと考えております...

私は、田舎の人間です。身体は都会にあっても、心はいずれも故郷に置きたいと思っております...



私の抱負

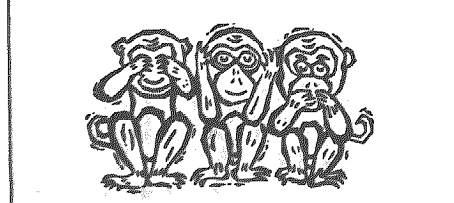
佐藤忠造



明治の末期生まれの中学生なんて、惨なもので過ぎた七十年間、青年、壮年、初老と其の時の境遇に学び乍ら、大きく抱負も抱きましたが、時の生活の中に沈んでしまいました...

「故郷は遠くに在りて思ふもの」ということわざがあります。私は故郷を離れて四年になりましたが、上京しての頭を思うと淋しくて、淋しくて一日でも早く田舎に帰りたいことを思い出します...

す。やはり将来は、田舎に帰りたいと思っております。私が離れたこの四年間で、一番目についたことは、私が六年間学びつた小学校が廃校になったこと、統合小学校になったこと、私はこれから入校する子供達は、ちよっと可愛想だなと思えます...



ふるさとへの年賀状

増潤秀也



「故郷は遠くに在りて思ふもの」ということわざがあります。私は故郷を離れて四年になりましたが、上京しての頭を思うと淋しくて、淋しくて一日でも早く田舎に帰りたいことを思い出します...

今年の出発前よりまず、現在の出来事と懐けたり、驚いたり、泣いたりして、その取扱選択を誤って、万事に控えかぬ失敗を招く、万事に控えて時系列を待つ方がよいと出ています。マイペースで家族の健康を願う体をおくに動かしたいと思っております...

私は、田舎の人間です。身体は都会にあっても、心はいずれも故郷に置きたいと思っております...